

	号外	定価 1部2円	賃金カット阻止 闘争は継続！ 家族署名や報告 集会に取組んで いこう！！
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内	

# 給与削減条例が可決

## 引続く課題に取り組もう！

25日の6月県議会冒頭、職員の給与削減条例が提出され、総務委員会審議を経て、同日の本会議で可決となった。

組合員が、県職労と県地方公務員共闘会議に結集して取組んできた賃金カット阻止闘争は、7月から来年3月までの厳しい給与削減の現実に立ち向かうこととなる。

そのため、県職労は、引続く課題に積極的に対処していく！

組合員の生活悪化に少しでも歯止めをかけ、根本要因としての政府の強権的手法を正していくための行動展開がそれだ！！

### まずは生活防衛

毎月の賃金カット額は、組合員で6千円から4万円にも！この9カ月間を何とか持ちこたえなければ…。

こうした声に対応するため、県職労が「ろうきん」に要請し、緊急的に特別の融資制度を設けてもらいました。当然、組合員しか利用できません。困っている組合員の仲間がいたら、声を掛けてみよう！

### 【セーフティローン】※賃金カットに伴う緊急生活資金の貸付

- ◆融資金額：最高100万円
- ◆金利：年2.0%（保証料込）
- ◆返済期間：最長10年（最長1年の元金返済据置あり）
- ◆取扱期間：9月30日まで（特別の取扱いのため短期間です）

### さらに・・・

6月15日の県職労定期大会で、今般の賃金カットに伴い、「じちろうセット共済」と「総合共済」の掛金分を貸付できるよう規程改正が行われました。

詳細は、近日中に運営審議委員会で検討し執行委員会で決定しますので、ご意見については、支部書記局又は本部へお寄せください。

### 家族署名を展開！

今回の賃金カットは、地方交付税を一方的に削減し、地方にも賃金カットを強制

した政府の横暴に根本的問題があります。地方自治をないがしろにする政府・総務省の姿勢を糾弾するため、総務大臣あての「地方交付税削減反対・地方財源の確保」を求める家族署名に取り組めます。知人・友人にも協力を求め、真の地方自治確立の礎を一段一段築き上げましょう！

## 報告集会・オルグを開催

この現実をどう受け止めれば良いのか、今後の取組みのポイントな何なのか…支部での報告集会や、本部による職場オルグを行っています。6月26日は久慈支部、27日には二戸支部で開催しました。各支部・分会で集会を企画しよう！

# 最後まで粘るも…

項目	当初提案	交渉終結の内容
給料月額	行政職 1～2級：▲4.4% 3～5級：▲7.4% 6級～：▲9.4%	当初提案の中から、次の部分のみ一部譲歩を引き出す ※6級(相当)の主幹等は▲7.4%減
期末・勤勉手当	一律▲9.77%	削減しない
諸手当連動	給料減額率と同率の手当削減	削減しない
管理職手当	部長級：現行▲25%→▲15% 総括課長級：現行▲15%→▲10%	提案通り削減する
実施期間	2013.7月～2014.3月	提案通り削減する

組合員の生活を守るために、地公共闘として苦渋の判断をした結果です。

しかし、根本課題は解決していません。地方交付税削減及び復興推進を阻害する人員不足・労働条件不備に関する改善要求と併せ、今般の賃金カットに至った県当局の対応を県議会で追及すべく、平中県職労委員長は、地公共闘での交渉経過及び今後の対応について、県議会の全会派を回り、組合側の考えを主張しました。

本会議では、社民党、地域政党いわて、共産党等の反対はあったものの、給与改正条例は賛成多数で可決。しかしながら、否は政府にあり、職員は懸命に努力していることは県議会各会派に理解され、次につながる取組みとなりました。

賃金カットは、辛い、苦しい、理不尽だ。一方で、早朝集会や大衆団体交渉等、これまでにない多くの行動を展開し、一定の押戻した成果も生み出した。厳しく辛い状況にあるけれど、我ら組合員、暮らしと職場を良くするために、再び前を向こう！

みんなで支え合いながら、引続く県職労運動を盛り上げ、参議院選挙での又市征治さん（県職労推薦）の必勝に向けて取組もう！！